広報
ひたちおおた

令和3（2021）年
2月号
No.711

地域の魅力を再発見

エコミュージアム活動

特集1

ECO MUSEUM

■特集2 地域おこし協力隊・・・・・・・・・・・・・・・・・P9～
■マイナンバーカードを使ってお得・便利に！ ・・・P14～
■令和3年度は固定資産の評価替え・・・・・・・・P16～

広報
ひたちおおたが
WEBでも読める

地域の魅力を再発見

エコミュージアム活動

地域を学ぶ・磨く・活かすエコミュージアム

エコミュージアム（Ecomuseum）とは、エコロジー（生態学）とミュージアム（博物館）をつなぎ合わせた造語で、地域の住民が主体となり、地域で受け継がれてきた自然や文化、生活様式を含めた環境を、持続的な方法で研究・展示・活用していくという考え方・実践活動のことです。市では、地域が行う地域の「お宝」（自然、歴史、文化遺産、景観、産業などの地域資源）を学び、磨き、活かす取り組みを支援しています。

地域を学ぶ『わがまち地元学事業』

「わがまち地元学事業」は、次の3つのステップを行います。

❶ お宝さがし（地域探索）とお宝マップ作成

みんなで地域を探索し、発見した「お宝」を地図にまとめ、地域独自のお宝マップを作成します。

地域を動かす人たち

和田町会長
茅根 仁始さん

和田町会は、平成22年よりエコミュージアム活動に取り組み、今では地域住民の楽しみと交流の場、子どもたちの健全育成の一環の場として、①不動尊夜町②ホタルの里づくり③健康ウォーキングロードについて取り組んでいます。特に、不動尊夜町は三世代交流の場として毎年盛大に行われていますが、令和2年は新型コロナウイルス感染拡大の観点から中止となり、非常に残念でなりません。引き続き、エコミュージアム活動を通じて古来の伝統を継承しつつ町民が主体的に参加しながら、多様な地域社会の形成を目指します。

岡田町会長
笹原 勲さん

岡田町では、令和2年1月に「岡田のお宝さがし」として、町内探索とお宝マップ作りを行い、子どもからお年寄りまで約70人が参加しました。普段から何気なく暮らしている地域に、ひっそりと静かに眠っているお宝がたくさんあり、参加者からは「町内のお宝に手を加えてさらに光り輝かせよう。最初に桜の季節にみんなが集まれる基地を作りたい」などの意見も出され、地域のつながりや絆が深まったことを実感しました。コロナ禍で思うような活動ができず、歯がゆい思いをしておりますが、地域のつながりや絆を継続できるよう、今後もエコミュージアム活動に取り組んでまいります。

② 将来構想づくり

お宝マップを参考に「こんなまちにしたい」という夢をみんなで語り、将来構想マップを作成します。

③ 発表会

お宝さがしとお宝マップ作成、将来構想づくりなど、これまでの活動の成果を発表し、地域全体で共有します。

地域を磨く『地域資源整備事業』

わがまち地元学事業で発見した「お宝」への看板設置や、来訪者のためのベンチ作り、ハイキングコースの整備など、「お宝」の活用を目指した取り組みです。

地域を活かす『資源活用・地域活動』

わがまち地元学事業や、地域資源整備事業の成果を活用して行われる地域ならではの活動です。

「お宝」を活用した自然体験学習や途絶えてしまったお祭りの復活など、子どもからお年寄りまで地域住民が一体となって取り組みます。

活動を支える人たち

エコミュージアム活動員
桐原 弘さん

活動を通して「多くの資源が発見でき、地域の絆もさらに深まっていった」などの声が多数聞かれました。そして、地域資源を整備し、伝統を守り続ける活動が開始され、地域に活気が生まれる様子を間近で見られることが、エコミュージアム活動員の醍醐味であると思います。案内板や解説板が設置されていく中で、新しいまちづくりを目指している様子が各地に見られ、明るい将来像を感じました。これからの活動に期待しています。

学生ボランティア
萩平 優紀さん

たくさんの行事・活動に参加し、常陸太田に息づく「豊かな根っこ」の存在を感じました。自然と歴史や文化と、あるいは祖先とのつながり、そして何よりも今、常陸太田に暮らす皆さん同士のつながりが、集落の内外に広がっているのだと思います。地域の、また皆さんの大ファンの一人としてこれからの活動を応援し、私のもう一つの故郷を周囲に伝えていきたいです。

茨城大学教授
福与 徳文さん

まだ「お宝探し」を行っていない地域の皆さんには、ぜひ、取り組んでいただきたいと思います。みんなで「お宝」を探すと、「あたりまえ」と思ってきたさまざまなモノやコトが地域の宝だったと気づくはずです。また、すでに「お宝探し」に取り組み、継続的に活動している地域でも、これまでの活動を振り返ってみてはいかがでしょうか。新たな発見があるかもしれません。

エコミュージアム活動

これまでのあゆみ

H22～ 和田町

H21～ 真弓町

H23～ 春友町

H21～ 赤土町

H19～ 里川町

H24～ 上河合町

H21～ 天神林町

H20～ 上宮河内町

H24～ 大里1町

H22～ 東染町

H20～ 河内地区

H24～ 大里2町

H22～ 棚谷町

H21 ～持方自治会

H24～ 徳田町

H22～ 町田町

H21～ 上深荻大菅町

H30 ～和久町

H28～ 中城町

H25～ 久米町

R1～ 上利員町

H29～ 新宿上町

H25～ 薬谷町

R1～ 芦間町

H29～ 新宿下町

H26～ 小妻町

R1～ 岡田町

H29～ 東連地町

H26～ 松栄町

H29～ 高柿町

H27～ 白羽町

H30 ～高貫町

H28～ 大平町

エコミュージアム活動を通して出会ったすべての方々、発見したすべての地域資源が常陸太田市の「お宝」です。今後もそのお宝の一つ一つを大切にしつつ、新たなお宝を発掘し、そして一人でも多くの方が『幸せを感じ、暮らし続けたい』と感じていただければと思っています。

常陸秋そば川柳コンテスト結果発表

12月5～28日に行われた、常陸秋そば川柳コンテストの結果をお知らせします。コンテストには、6歳から93歳までの幅広い世代の皆さんから341句の応募があり、その中で最優秀賞が1句、優秀賞が5句、佳作が30句選ばれました。

＊入賞した作品は市観光物産協会HPにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

市観光物産協会HP

最優秀賞

元気です　常陸秋そば　食べるから／石川 章（水戸市）

優秀賞

三立てに　そば職人の　心意気／倉持 和見（大里町）

耳もとで　そっとささやく　そば枕／駒さん（内田町）

新そばの　香りと味が　くせになる／けい（岩手町）

そばつゆも　みんな飲み干す　男前／岡田 博（上河合町）

蕎麦名人　自称おやじの　田舎そば／助さん（山下町）

佳作

そば打ちは　家族をつなぐ　嫁の技／よしやん（那珂市）

そばうまし　良きに悪きに　そばをうつ／関 光子（水戸市）

行列の　長さに負けず　そばを待つ／関 徹也（水戸市）

蕎麦の香を　手繰る喜び　常陸秋／やすぞう（山下町）

楽しみに　そばの追っかけ　しています／山ちゃん（ひたちなか市）

幸せね　あなたとそばの　食べ歩き／常陸大宮のカズちゃん（常陸大宮市）

ふるさとに　思いよせれば　そばの味／俊江ちゃん（稲木町）

日本晴　白いジュータン　そばの花／菊池 たまゑ（大中町）

幸わせを　けんちんそばで　てんこ盛り／宇野 正孝（ひたちなか市）

父が打つ　常陸秋そば　味はマル／宇野 正孝（ひたちなか市）

ずるずると　一気にすする　美味い音／シーさん（水戸市）

喉が鳴る　八十路の姉の　手打ちそば／佐川 きよ（沢目町）

噛みしめる　ソバで暮らして　ゆく暦／玄亀（日立市）

秋蕎麦の　秘伝を探り　食べ歩き／神開 凝（水戸市）

そばが好き　ひたち秋そば　もっと好き／ももっち（笠間市）

新そばの　かおり恋しや　里かえり／平さん（寿町）

そば打ちを　見ているだけで　舌つづみ／めがねの友ちゃん（和久町）

名店で　語り合うのは　祖母の蕎麦／もう食べられない（幡町）

ステイホーム　腕によりかけ　手前そば／黄門ちゃま（幡町）

コロナ禍の　けんちんそばに　ホッとする／MOMO（ひたちなか市）

そば店の　主人はいつも　いい笑顔／石川 章（水戸市）

そばを待つ　時間も楽し　君となら／ムー（天神林町）

初恋の　先生みたいな　そばの花／のんち（上河合町）

鼻抜ける　薫りがうまい　秋のそば／おさ（日立市）

夏はざる　冬けんちんで　秋を食べ／荒谷 康太郎（幡町）

けんちんの　味の違いが　また楽し／どん（日立市）

「美味しいね」　打ちたてのそば　光ってる／会沢 百々代（栄町）

うまいなぁ　常陸にかぎる　秋そばは／ウマジー（幡町）

満腹も　常陸秋そば　別腹よ／ヨーコー（栄町）

そば食べて　コロナなんかに　負けないぞ／ユズパパ（三重県）

高柿町散策マップを設置

高柿町のお宝（地域資源）を案内する看板を金砂郷支所に設置しました。今回設置した「高柿町散策マップ」は、同町が平成29年からエコミュージアム活動に取り組み、地元の方々が見つけたさまざまな見どころがまとめられています。このマップを利用し、ぜひ古代ロマンにあふれた高柿町を散策してみてください。

新春を彩る生け花

太田西山高校商業コースの2年生が、「新春を彩る」をテーマに市役所で生け花を行いました。当日は、6班に分かれ講師の指導のもと、真剣な表情で創作に取り組みました。参加した生徒は「初めての場所で作品を作るのはとても難しかったが、納得のいく作品ができてよかった」と笑顔で話しました。

奥久慈桜で華やかに

奥久慈の枝物銘柄推進協議会が枝物産地の知名度向上に向けた取り組みとして、花き活けこみ作品の展示を市役所本庁舎ロビーで行いました。奥久慈枝物部会太田支部が制作し、「奥久慈桜」を主役においた作品がロビーを華やかに飾りました。日が暮れてからはライトアップを行い、昼間の印象とは一味違った趣を楽しむことができました。

「住みたい田舎」北関東エリア総合部門で第1位

「田舎暮らしの本」（宝島社）の「2021年版住みたい田舎ベストランキング」における、北関東エリア総合部門で本市が第1位を獲得しました。本市は結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援が充実していることや、竜神大吊橋などの観光資源や豊かな自然があることが評価されました。

新型コロナワクチンの接種について

市では新型コロナワクチン接種推進本部を設置し、安心してスムーズにワクチン接種をしていただけるよう準備をしていきます。市民の皆さんは、健康に十分お気を付けの上、お待ちください。最新情報については、随時市ホームページや広報紙などでお知らせします。

新型コロナウイルス、季節性インフルエンザの感染拡大防止のための

冬の感染予防対策3つのポイント

1 換　気

室温が下がらない範囲で窓などを少し開ける（風の流れができるよう、2方向の窓を開ける。窓が1つしかない場合は、入り口のドアを開ける）

2 加　湿

空気を乾燥させないように、湿度40%以上を目安に加湿する（加湿器の使用や、洗濯物の室内干しで加湿することができる）

3 手洗い

丁寧に洗うことや消毒をこころがける

・3密（密接・密集・密閉）を避ける　・マスクの着用を徹底する

発熱や咳の症状があるなど家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合

家庭内でご注意いただきたいこと8つのポイント

1. 部屋を分けましょう
2. お世話はできるだけ限られた方で
3. マスクをつけましょう
4. こまめに手を洗いましょう
5. 換気をしましょう
6. 手で触れる共有部分を消毒しましょう
7. 汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう
8. ゴミは密閉して捨てましょう

・本人は外出を避けてください

・家族、同居している方も熱を測るなど、健康観察を行い、不要不急の外出は避け、特に咳や発熱などの症状があるときには職場などに行かないでください